

# 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第68号	氏名	黄 明国
学位審査委員	主 査	永山 雄二	
	副 査	上平 憲	
	副 査	佐藤 伸一	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、シェーグレン症候群における唾液腺組織傷害に関わるグランザイムBの自己抗体産生への役割を検討するため、新規自己抗体を検索しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 患者血清と唾液腺細胞株溶解液を用いたウエスタンブロット法を基本として新規自己抗体をスクリーニングし、さらにグランザイムB或いはカスパーゼ3処理、レコンビナント SS-A・SS-B 蛋白及びこれらに対する特異的抗体、吸収試験等を用いたもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、シェーグレン症候群患者血清中にグランザイムBで断片化されたSS-B抗原上の新規エピトープに対する抗体を同定し、唾液腺への細胞傷害性細胞浸潤→グランザイムBによる唾液腺細胞アポトーシスとSS-B蛋白の断片化→新規エピトープに対する自己抗体産生、という自己抗体誘導現象を明らかにした。今後のシェーグレン症候群におけるSS-B抗原の病因的意義、自己免疫疾患における免疫寛容破綻の研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文はシェーグレン症候群、ひいては自己免疫疾患全般の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			